

ウェディング科2年 2024年度科目シラバス

対象学年	2 学年	科目名	実習就職対策講座Ⅱ	担当名	大松晶野 吉田大樹 高橋真実
対象学期	後 期	講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	2年次前期までに習得した就職活動における知識と技術を就職決起会で実践できる。また採用試験に望む準備を完全に備え、早期に就職内定を勝ち得ることができる。
学習内容	業界を熟知している学校職員や講師が、ウェディング・ホテル業界への就職に向け、業界の動向や、現場で求められる気構え・身構え・心構えを伝え、学生の「第一印象」と「業界で働くうえで求められるマインド」を高め、業界から評価される人材を育成する視点で授業を展開する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	・使用教材をしっかりと確認し、毎回忘れ物がないように出席すること。 ・社会人基礎力を養う目的で毎回リクルートスーツで参加すること。

授業回数別教育内容 ※授業のない週には企業説明会を行う予定です。毎週空けておいてください。

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	・就職決起会のオリエンテーション	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	
2	・就職決起会に向けたエントリーシートの作成にとりかかる ・就職活動に向けて自分の立ち位置や理解度を確認し、疑問や不安を抽出する		
3	・ウェディング・ホテル業界で活躍する卒業生の講話 or 業界からの就職活動に向けた講話(予定)	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	
4	・就職活動の疑問、不安解消へのアドバイス ・就職決起会用エントリーシートを完成させて提出する		
5	・就職決起会の目標設定	・手帳(スケジュール帳)	
6	・面接練習会の実施 ・グループディスカッション練習の実施		
7	・面接練習会の実施	・手帳(スケジュール帳)	
8	・グループディスカッション練習の実施 午後:就職活動履歴書写真撮影予定		
9	就職決起会 【模擬面接会の実施】	・手帳(スケジュール帳)	
10	人によって時間が異なります。終日空けておいてください。 時間は約1か月前にご連絡します。		
11	・就職決起会の振り返り	・手帳(スケジュール帳)	
12	・3年次履修登録の説明		
13	・就職活動のアクションプランを作成する	・手帳(スケジュール帳)	
14	・3年次履修登録の実施		
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	ゲストハウスウェディングⅡ	担当名	和田 翔太郎
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ゲストハウスウェディングの歴史・スタイル・実務の基礎を学び、ゲストハウス全般の知識を得る。お客様に合わせた提案をするため、最適なヒアリングとプランニングを行うことができるようにする。																					
学習内容	都内ゲストハウスでウェディングプランナー及びバンケットキャプテンを経験しフリープランナーに転向、約10年のブライダル業界経験を持つ教員が、婚礼業界でのスキルアップに向けて、様々な事例から知識を得ること・学生同士での調査検討発表することを経て、ヒアリングとプランニングスキルを習得するための講義演習を実施する。																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>4.0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>3.0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>2.0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>1.0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td></td><td>出席不良</td></tr><tr><td>F</td><td>0.0</td><td>59点以下(不合格)</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験とする	評価	GPA	合計点数	A	4.0	90点～100点	B	3.0	80点～89点	C	2.0	70点～79点	D	1.0	60点～69点	E		出席不良	F	0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	4.0	90点～100点																				
B	3.0	80点～89点																				
C	2.0	70点～79点																				
D	1.0	60点～69点																				
E		出席不良																				
F	0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	筆記用具とPCを持参																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1 2	ヒアリングとプランニング ヒアリングシートとコンセプトメイク	筆記用具、PC	なし
3 4	ヒアリングとプランニング コンセプトメイクワーク準備	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
5 6	ヒアリングとプランニング コンセプトメイクワーク発表	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
7 8	ヒアリングとプランニング プランニングワーク 招待状・席次表	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
9 10	ヒアリングとプランニング プランニングワーク 進行表・演出・サプライズ	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
11 12	ヒアリングとプランニング 手配・直前準備・婚礼当日	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
13 14	集客・ブライダルフェア・その他のプランナー業務	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	ホテルウェディング	担当名	中村恵理 廣瀬祐子
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ホテルのプランナーとして、他部門及びパートナー企業との連携の重要性を理解し、多数のスタッフで創り上げるホテルウェディングの魅力を知る
学習内容	フリープランナーとして現在活躍している教員が、ホテルの今の現場の話も交えながら、ホテルウェディングの特徴を伝え、ホテルスタッフとしての婚禮への関わり方をグループワークを中心に実践的な授業を実施。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	筆記用具及び指定した授業はパソコンを持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・ホテルウェディングについて	筆記用具 及びパソコン	ホテルの特徴を調べる
2	結婚式に関わる仕事・ホテル内他部門・パートナー企業	筆記用具	
3	結婚式に関わる仕事について必要な資質 (グループディスカッション)	パソコン	結婚式の仕事についてまとめる
4	プレゼンテーション 「結婚式に関わる仕事に必要な資質」	パソコン	プレゼンテーションに向けて資料をまとめる
5	各セクションごとに必要な専門知識、ホテル用語	筆記用具	
6	ホテルウェディングを求める新郎新婦像とは	筆記用具	
7	新規接客と打合せ接客について	筆記用具	
8	ロールプレイング 「新規接客」*練習	筆記用具、パソコン	
9	ロールプレイング 「新規接客」*デモストレーション	筆記用具、パソコン	
10	打合せ管理とは	筆記用具	
11	ロールプレイング 「打合せ接客」*初回打合せ	筆記用具	
12	ロールプレイング 「打合せ接客」*中間打合せ	筆記用具	
13	ロールプレイング 「打合せ接客」*最終打合せ～当日まで	筆記用具	
14	ホテルウェディングの魅力・まとめ	筆記用具	
15	定期試験		

対象学年	2 学年	リゾートウェディング	ベスト・アニバーサリー
対象学期	後 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	2単位 30 時間

到達目標	国内外のリゾート地の特徴を学び、リゾートだからできるウェディングについて調べる。リゾートウェディングの場合、打合せが遠隔になることが多いため、リゾートの魅力をどのように伝えることができるかなど、語彙力・プレゼンテーション能力を高める。
学習内容	ハワイの有名ホテルの海外挙式プロデュースの経験や、国内のリゾートウェディングの魅力をお客様に紹介してきた講師が、リゾートならではの魅力をエリアの観光地と共に解説。語彙力・プレゼンテーション能力を具体的に取り入れた授業を実施。BIA主催「マスターオブブライダルコーディネーターコンテスト」グランプリ受賞講師。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ブライダルコーディネーターテキストを持参。筆記用具持参

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・リゾートウェディングについて	ブライダルコーディネーターテキスト 筆記用具	授業内容に応じて、 自宅学習
2	リゾート地のピックアップ (グループワーク)	プリント	グループで話したことを まとめる
3	リゾート地の魅力 (グループディスカッション)	プリント	他グループの発表を聞いて まとめる
4	リゾートウェディングの変遷	ブライダルコーディネーターテキスト 筆記用具	授業内容に応じて、 自宅学習
5	リゾートウェディングの魅力について (グループディスカッション)	プリント	グループで話したことを まとめる
6	【プレゼンテーション】 リゾートウェディングの魅力とは	プリント	発表するための 準備をする
7	リゾートウェディング カスタマー分析	ブライダルコーディネーターテキスト 筆記用具	授業内容に応じて、 自宅学習
8	インタビュー内容についてのまとめ (グループワーク)	プリント	グループで話したことを まとめる
9	【特別授業】 リゾートホテル社員へのインタビュー	プリント	発表するための 準備をする
10	インタビューした結果のレポートまとめ (グループワーク)	プリント	グループで話したことを まとめる
11	各種ウェディングの分析 *ゲストハウス・ホテル・リゾート・専門式場・レストラン 等	ブライダルコーディネーターテキスト 筆記用具	授業内容に応じて、 自宅学習
12	各種ウェディングの違いなどをまとめる (グループワーク)	プリント	グループで話したことを まとめる
13	【プレゼンテーション】 リゾートウェディングの特異性とは	プリント	発表するための 準備をする
14	まとめ	ブライダルコーディネーターテキスト 筆記用具	授業内容に応じて、 自宅学習
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	ドレススタイリストⅡ	担当名	坂田 依智子・福島圭子		
対象学期(Q)	後 期		講義 演習・実技・実習	単位/時間数	4単位	60	時間

到達目標	衣装決定までの流れを習得し、トータルコーディネートを含めた衣装提案ができる。 婚礼和装の衣装選びを正しい知識でご案内ができる。
学習内容	ウェディング総合プロデュース会社「TAKAMI BRIDAL」にて、ウェディングスタイリストとして長きに渡り式場やホテルの現場で婚礼衣装業務に携わってきた教員と、ドレスブランドマシェリにて、500組以上の挙式にスタイリストとして携わった教員が、現場での経験を伝えながら指導する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験及び実技試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト、筆記用具、白手を持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無	担当講師
1	衣装決定までの業務について	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	テキスト第3章をよく読んでおく	福島
2	カウンセリングの手法、衣装選び、衣装のプレゼンテーションについて	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	学んだ内容をしっかりと確認しておく	福島
3	トータルコーディネートについて～イメージ	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	福島
4	トータルコーディネートについて～体型・会場	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	福島
5	接客アテンドと花嫁様へのアドバイスの実践、ドレスフィッティング	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	福島
6	ドレスとメンズ衣装のフィッティングとポージング ドレスとメンズ衣装の組み合わせ	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	福島
7	グループに分かれ、ネットの画像から「キュート(WD)」をトータルコーディネートし、コラージュ作成	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	坂田
8	「キュート(WD)」コーディネートのコメント作成、発表、意見交換、フィードバック	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	坂田
9	新婦の和装について／打掛、引き振袖のたたみ方	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	坂田
10	新婦の和装について／打掛のフィッティング	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	坂田
11	新郎の和装について／紋服のたたみ方	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	坂田
12	家紋、列席衣装の和装について／留袖のたたみ方	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	坂田
13	和装コーディネート、トレンドについて	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	坂田
14	定期試験に向けて総復習	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	坂田・福島
15	定期試験		定期試験事前学習	坂田・福島

対象学年	2 学年	科目名	ドレスメンテナンス	担当名	北沢聡子		
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位	60	時間

到達目標	ドレスメンテナンスの為に必要な技術演習を行いドレスコーディネーターに必要なメンテナンス技術を習得する
学習内容	ドレスデザイナー・コーディネーターとして10年以上の経験を持ち、上級洋裁講師でもある教員がドレスメンテナンスの基本を伝授する
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎回の持ち物を確認し、忘れずに持参して授業に参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	様々な衣装店の形態を学びオリエンテーションを通して目標を確認する	テキスト・筆記用具・裁縫道具	裁縫道具の点検
2	道具の使い方について理解し、針と糸の扱いを演習する、運針と4つの基本縫いの意味を理解する	テキスト・筆記用具・裁縫道具	運針の練習
3	4つの基本縫い実習	テキスト・筆記用具・裁縫道具・シーチング	基本縫いの復習
4	メンテナンスの種類について理解し、ループの指編み実習を行う	テキスト・筆記用具・裁縫道具・シーチング	指編みの復習
5	メンズフォーマルのメンテナンスについて理解し、ボタン付け・スラックスの丈上げ実習を行う	テキスト・筆記用具・裁縫道具・シーチング・メンズスーツ	ボタン付けの復習
6	ホック・スナップ・パール・ビーズ・スパンコール・レースの取り付け実習を行う	シーチング・オーナメント一式・テキスト・裁縫道具	ホックやスナップを付け直す
7	アイロンの種類とかけ方を学び、アイロン実習	アイロン・衣装・筆記用具	自分のスーツにアイロンをかける
8	ドレスのお直しの箇所を理解し、直せるかどうかの判断とピン打ち実習	ドレス・裁縫道具・筆記用具	マチ針の扱いの復習
9	ドレスのお直し実習	ドレス・裁縫道具	お直しのコツの復習
10	ドレス・メンズフォーマルのサイズについて理解し、採寸実習を行う	メジャー・ブライダルインナー・ティーシャツ・筆記用具	採寸のポイントの復習
11	染み抜きと匂い取りの仕組みについて学び、染み抜き実習を行う	タオル・洗剤・ベンジン・筆記用具	自分の服の染み抜きをやってみる
12	芯について学び、特殊素材のチュールでリボンを制作する	チュール・テキスト・オーナメント・裁縫道具	制作したリボンに止め具を付ける
13	基本縫いを基にピンクッションを制作する	サテン・フェルト・綿・オーナメント・裁縫道具	提出物を切の良いところまでやっておく
14	ピンクッションの仕上げ、定期試験二向けの総復習	裁縫道具・筆記用具	試験勉強
15	定期試験	筆記用具・提出物	—

対象学年	2 学年	科目名	フラワーデザイン&デッサン I	担当名	天野充恵・岡田真理子
対象学期	後 期		講義 演習 実技・実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	フローリストとして必要な知識、技術を身につける。
学習内容	花の知識と扱い方、お仕事としてつかえる技術を身につける。ブライダルに必要なコーディネートを学ぶ
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	◆商品としてどう花を扱うか考え、フローリストとしての自覚をもつ ◆みる力・描く力を養うと共に、相手の想いを汲み取り自分の想いを表現できるようになりましょう

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	フローリストの基礎知識。花の形状、水揚げ法、季節のお花を知る。資材、道具を知る。	筆記用具・ハサミなど資材一式	
2	トライアングルデザイン。用途とデザインについて	筆記用具・ハサミセット・レシクラポット・オアシステープ	
3	花束。スパイラルテクニック。用途に合わせたデザインとラッピング	筆記用具・ハサミセット	
4	ラウンドブーケとブートニア。ブーケの構造とワイヤリングについて	筆記用具・ハサミセット・ワイヤー・フローラルテープ・ブーケスタンド	
5	絵を描く基本・鉛筆の使い方・形をつかむ 骨格・遠近法・空間の捉え方・物の見え方(錯覚)	デッサン帖・鉛筆(6B～2B・B・HB・H・H～4Hくらいまで/自宅にある範囲で良いので数種類を持参してください)消しゴム・あればねり消し	←書き方えんぴつは4Bや6Bが多いのでそれでOK
6	「色相」色相環・色が与える季節感やイメージをつかむ 花材のタイプを描き分ける	デッサン帖・鉛筆(同上)・消しゴム・色鉛筆・絵筆・小皿	
7	小物制作。ケーキナイフ、マイク、シャンパングラスなど	筆記用具・ハサミセット・ワイヤー・フローラルテープ	
8	ホリゾンタルスタイル。テーブルに適したサイズのデザインについて。	筆記用具・ハサミセット・アクアベース・オアシステープ	
9	数種類のブーケを描き分けてデザインする	デッサン帖・鉛筆(同上)・消しゴム・色鉛筆・絵筆・小皿・写真や画像	作成したブーケやブートニアをスマホで撮影しておきましょう
10	全体イメージを考え挙式空間をデザインして伝える	デッサン帖・鉛筆(同上)・消しゴム・色鉛筆・絵筆・小皿・写真や画像	提案したい装花の画像を収集しておきましょう
11	リース制作。ガーランドと花の配置について。	筆記用具・ハサミセット・ワイヤー・フローラルテープ	
12	パレレルスタイル。コンセプトに合わせたデザインの仕方について。	筆記用具・ハサミセット・アクアベース・オアシステープ	
13	バーティカルスタイル。器や置く場所に合わせたデザインについて。	筆記用具・ハサミセット・レシクラポット・オアシステープ	
14	フリースタイルアレンジメント。花器と花のバランスを見てオリジナルアレンジメント	筆記用具・ハサミセット・パオ皿・オアシステープ	
15	定期試験(実技)	ハサミセット・レシクラポット・オアシステープ	

対象学年	2 学年	科目名	フォト&ムービー撮影Ⅱ	担当名	内垣 和
対象学期(Q)	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	ウェディングフォトおよびウェディングムービーを実践的に学ぶことにより、基本的な撮影・編集ができるようになる。
学習内容	フォトグラファー歴12年、前撮りを含め年間200組以上のブライダル撮影を行う講師が、カメラと写真の基礎知識、撮影技術はもとより、構図づくりや明るさ調整など写真・動画撮影の知識を講義する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	筆記用具、一眼レフカメラ一式(バッテリー、メディア等)、MacBookを忘れずに持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・後期に向けて(学生)		
2	動画撮影実習		
3	動画撮影実習、動画編集実習		
4	動画編集実習		
5	人物撮影(ポートレート撮影)とスナップ撮影		
6	スナップ実習(場所未定)		
7	講評 集合写真撮影について		5・6回目分 編集作業
8	物撮りを学ぶ・撮る 講評		
9	光を知る・見る・選ぶ・コントロールする		
10	スタジオ撮影(型物・洋装)		
11	スタジオ撮影(型物・和装)		10回目分 編集作業
12	カメラの設定と操作 応用とより高度な設定		11回目分 編集作業
13	撮影実習・総合		
14	講評 復習(これまでの学習で理解が足りない部分を補う)		13回目分 編集作業
15	定期試験(写真)		

対象学年	2 学年	科目名	セルフビューティ B	担当名	笠原 麻衣
対象学期	後 期		講義 演習 実技・実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	基礎的なメイク知識やテクニックを学び、理論的な考えの基、セルフでメイクを施せられるようになる。自分自身の美意識も接客サービスや身だしなみの一つとして考え、好みのメイクだけに偏らず様々な印象のメイクが出来るようになる。
学習内容	大手外資系化粧品ブランドの美容部員として約10年従事し、マネージャーとしてメイク・接客スキルの育成にも携わる。現在はメイク講師の傍ら、グランドニッコーホテル東京台場の美容サロンに所属し花嫁様のメイクを担当。セルフビューティの授業ではメイクの基本的な知識やテクニックを学び生徒自身のメイク技術と美意識を高める。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験と実技試験とする
履修に当たっての留意点	毎授業では自分の化粧道具を持参 持っていない道具は推奨しているメイク道具を準備お願いします。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	講師自己紹介・生徒他己紹介・授業内容説明とアンケート		
2	基本的なアイブロウの描き方・黄金比		
3	印象別のアイブロウの描き方		
4	アイシャドウの塗り方、グラデーションの作り方		
5	ハイライト&シェーディングで立体メイク		
6	パーソナルカラーとは①ブルーベース・イエローベース		
7	パーソナルカラーとは② 4つのシーズンを知る		
8	フルメイクのバランスの取り方		
9	印象別メイク①フェミニンメイク		
10	印象別メイク②クールメイク		
11	ネイル:ベース・ワンカラー・トップコート		
12	ネイル:ベース・ワンカラー・トップコート		
13	結婚式の参列メイク①		
14	結婚式の参列メイク②		
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	パーソナルカラー検定 B	担当名	岡永 めぐみ
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ブライダル業界において、どの分野でも必要となる「カラー」の知識を資格を取るという目標と同時に、実際の現場においても活用出来る「応用力」と、様々なイメージの要望を色に置き換えて提案することが出来る「提案力」を身につけることが出来る基礎知識を身につける。
学習内容	色彩におけるあらゆる分野の資格を持ち、ブライダルでは新郎新婦への衣装の提案、ブーケやアクセサリーの提案と作成を行っている講師が、色で学生自身の外見のセンスアップと内面の健康を保つ知識とともにパーソナルカラー検定の資格取得をする。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	問題集は直接書き込まず、ノートを用意してください。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダルで色の勉強をする意味を理解する	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	色相環、トーン図作成
2	色の三属性、トーンを学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	色相環、トーン図作成
3	色の三属性、トーンを学ぶ、色の見極め方法を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P7、P9
4	4つのシーズンの特徴を理解する	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P14
5	4つのシーズンの特徴を理解する、色の見極めテスト	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	1週間ファッションシート
6	似合う色の基準を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P18
7	自分のボディカラーを知る	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P19
8	中間試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	試験の復習
9	対比、反射の影響を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	授業で終わらなかったプリント
10	配色方法を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P11
11	ドレーピング方法を学ぶ1	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P25
12	ドレーピング方法を学ぶ2	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P26
13	似合う色の取り入れ方を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P30、P31
14	模擬試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	試験の復習
15	定期試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	

対象学年	2 学年	科目名	英会話演習 B	担当名	Paul Searle
対象学期	後 期	講義	演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	学生は、挨拶する・自身の考えを伝える・相手が言っていることを理解する、などの基本の英会話と、ホテル業界の様々なビジネスシーンにおけるシチュエーションの会話を習得する。
学習内容	滋慶英語教育に長く携わってきたネイティブの教師が、学生がホテル特有のシチュエーションにおいて外国人を前に自信を持って対応できることを目的としたコミュニケーション主体の授業を行う。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	予め教科書を読み、予習してくる。また、授業後復習をし、より確実に身につけることが望ましい。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can talk about travel - 旅行について話すことができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 1	授業内容に応じて、 自宅学習
2	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can talk about jobs - 仕事について話すことができる ■Can deal with check in at the airport - 空港でチェックインができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 2 & 3 -A	授業内容に応じて、 自宅学習
3	■Can understand directions at an airport - 空港の案内が理解できる ■Can talk about procedures at immigrations - 入国審査の手続きについて話すことができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 3 -B & 4	授業内容に応じて、 自宅学習
4	■Can deal with lost items at an airport - 空港で喪失物の対応ができる ■Can deal with enquiries about hotel accommodation - ホテルの空室状況についての問い合わせに対応できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 5 & 6-A	授業内容に応じて、 自宅学習
5	■Can check guests in and out - お客様のチェックインとチェックアウトの対応ができる ■Can talk about hotel breakfast and fast food - ホテルの朝食やファストフードについて話すことができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 6-B & 7	授業内容に応じて、 自宅学習
6	■Can explain sightseeing tours - 観光ツアーについて説明できる ■Can assist guests with souvenir shopping - お客様がお客様を購入する際にサポートできる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 8 & 9	授業内容に応じて、 自宅学習
7	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can assist customers with transportation needs - 公共交通機関についてお客様のサポートができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 10	授業内容に応じて、 自宅学習
8	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can assist customers with problems and health issues - トラブルや体調不良の問題についてお客様をサポートできる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 11	授業内容に応じて、 自宅学習
9	■Can explain transport options to the airport - 空港までの交通ルートを説明できる ■Can explain procedure at a Ryokan - 旅館の手続きを説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 1&3, 4&5	授業内容に応じて、 自宅学習
10	■Can explain Japanese meals at a Ryokan - 旅館の日本食を説明できる ■Can explain Japanese souvenirs - 日本の土産について説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 6, 7, 8	授業内容に応じて、 自宅学習
11	■Can buy bullet train tickets - 新幹線の切符を購入できる ■Can take a taxi - タクシーを利用できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 9, 10	授業内容に応じて、 自宅学習
12	■Can give advice on sightseeing - 観光のアドバイスができる ■Can explain about City Tours - 市内観光について説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 11	授業内容に応じて、 自宅学習
13	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can give recommendation for places to visit - 観光のおすすめスポットを提案できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 12	授業内容に応じて、 自宅学習
14	■Review of course materials-consolidation through role play - これまで学習した内容の復習—ロールプレイを通して理解を強化 ■Test Preparation - 試験勉強	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic	授業内容に応じて、 自宅学習
15	定期試験	/	/

対象学年	2 学年	科目名	韓国文化演習 B	担当名	1～4週目:竹澤 雅 5～7週目:近藤 仁		
対象学期	後 期				講義	・ 演習 ・	実技 ・ 実習

到達目標	韓国文化・トレンド・言語を学ぶとともに、韓国での観光、結婚式のかたちを理解し、今人気の韓国風フォトウェディングを創り出し、提案する力を身につけることができる
学習内容	竹澤先生:韓国出身のネイティブ講師(現在は、日本国籍)が、自分の経験を基に教育する。日本で長年に渡り接客経験がある講師の実体験に基づく日本文化との違い・異文化での結婚式について興味・関心を持てる授業を実施する 近藤先生:ウェディングフォトのベテラン講師が、テーマに合わせたフォト演習を実施する
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	使用教材をしっかりと確認し、毎回忘れ物がないように出席すること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	授業に入る準備を確立する 韓国の概要(文化・民族特性など)	講師作成 プリントやPPT・映像など	韓国人気の理由について 考えをまとめる
2	韓国のホテルについて(有名な観光地やホテルのおもてなしの方法)		
3	韓国のブライダルについて (韓国での結婚観や結婚式の特徴について)	講師作成 プリントやPPT・映像など	韓国で行ってみたい 観光地について調べる
4	韓国ブライダルについて (韓国で今人気の結婚式について)		
5	韓国語(日常会話)	講師作成 プリントやPPT・映像など	韓国で推し活 応援うちわに書きたい 言葉を考える
6	韓国語(接客用語)		
7	韓国の民族衣装やアイテムについて (チマチョゴリを着てみよう)	講師作成 プリントやPPT・映像など	チマチョゴリに似合う 髪型を考える
8			
9	韓国風ウェディングフォトの準備① コンセプトシートの作成 (ウェディングフォトで着たいドレスを探す)		
10	韓国風ウェディングフォトの準備② (韓国風ウェディングのヘアメイクやコスメについて)		
11	韓国風ウェディングフォトの準備③ (各チームで準備)		
12	韓国風ウェディングフォトの準備③ (各チームで準備)		
13	韓国風ウェディングフォト撮影会		
14	韓国風ウェディングフォト撮影会		
15	定期試験	1～4回目の授業を中心とウェディングフォトのコンセプトシート提出、振り返りの内容	

対象学年	2 学年	科目名	マーケティング B	担当名	長谷川 円香
対象学期	後 期		講義 演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	マーケティングの基本的な知識を理解し、商品やサービスが売れる仕組みを知る。自分の言葉や写真を使って表現出来るようになる。 SNSを効果的に表現出来る方法を身につけることを目標とする。
学習内容	婚礼プロデュース会社にて10年以上勤務後フリーランスウェディングプランナーとして独立。フリープランナー経験8年・フリーMC歴15年。 行政・企業のSNS運用・イベント集客などを手がける講師が、マーケティングの基本中の基本について分かりやすい言葉で具体的に指導。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノート、筆記用具を持参すること。(ハサミ・糊などを使用する場合は事前に告知)スマートフォンまたはタブレットPCを準備して、情報収集が可能な状態で参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・自己紹介・到達目標の共有 マーケティングの基本【4P /4C】	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
2	「マーケティング」での「顧客」の定義。 ホテル・サービス業におけるペルソナとは？を知る。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
3	【グループワーク】準備 ペルソナが求める会場タイプ別の魅力分析	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
4	【グループワーク】準備 会場の魅力についてプレゼンテーション準備	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
5	【グループワーク】発表 会場の魅力についてプレゼンテーション発表	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
6	行動経済学を知ってマーケティングに活かそう！ なぜ、マリッジブルーになる花嫁が多いのか？など。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
7	【グループワーク】準備 市場におけるニーズの分析・SNSの特性研究 世代や属性によるSNSの特性を知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
8	【グループワーク】発表 市場におけるニーズの分析・SNSの特性研究 世代や属性によるSNSの特性を知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
9	広報力の分析／マーケティング用語とビジネスカタカナを知る。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
10	広報力の分析／マーケティング用語とビジネスカタカナを知る。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
11	【グループワーク】準備 広報力の分析・言葉をお金に変えるには 売れるキャッチコピーを考えてみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
12	【グループワーク】発表 広報力の分析・言葉をお金に変えるには 売れるキャッチコピーを考えてみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
13	集客案作成① マーケティングを活かしてブライダル広報誌を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
14	集客案作成② マーケティングを活かしてブライダル広報誌を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	ブライダルジュエリー B	担当名	北沢 聡子
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	婚礼に使われるジュエリーとアクセサリについて例示し、宝石についての知識と興味を持って美しいイメージを顧客に持ってもらえるような接客力を発揮し、知識を持ってジュエリーショップに就職も視野に入れる
学習内容	最入手のメーカーでドレスのデザイナー・関連小物の企画、ドレスコーディネーターを勤めてきた講師が長年にわたり収集した世界中の王家・名門貴族・セレブリティのジュエリー画像、世界の流行を変えたジュエリー、ハイブランドの特徴や日本のブランドの画像をふんだんに使いながらジュエリーの世界を伝授する
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノートを取りなるべく本物を見るように提示された場所に行ってみる

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダルジュエリーの種類と宝石の知識の重要性	講師資料	自分の誕生石を調べる
2	宝石の特徴と主な種類、欧米諸国と日本の違い	講師資料	授業復習
3	誕生石について学びながら基本知識を深める	講師資料	授業復習
4	ダイヤモンドについて	講師資料	婚約指輪の理想を考える
5	婚約指輪・結婚指輪について	講師資料	結婚指輪の理想を考える
6	5大ジュエラーとグランサンク	講師資料	ヴァンドーム広場を検索する
7	世界のハイブランドと日本のブランド	講師資料	授業復習
8	世界のティアラ・ティアラを着ける効果	講師資料	授業復習
9	パリュールについて	講師資料	授業復習
10	ドレスとブライダルジュエリーのバランス	講師資料	授業復習
11	日本が世界に誇る真珠について	講師資料	授業復習
12	王族・貴族のブライダルジュエリー	講師資料	授業復習
13	模造宝石の進化と市場	講師資料	授業復習
14	最近のブライダルジュエリーの傾向	講師資料	試験勉強
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	オフィスワーク・マナー講座B	担当名	田中 絵巳
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	「ブライダル業界の社会人1年目に必要となる、業界基礎知識（流れ・マナー）を学び、その項目に対し相談に乗れるようになること」 ①認知：列席側・新郎新婦側の基本的知識（流れ・マナー）の理解し、説明できる ②感情：「基本的知識を手に入れ、業界に入るベースが作れた」と思える自己効力感がある ③行動：列席・新郎新婦側のケーススタディを個人ワーク・グループワークを通じて考え・話し合う ④対人関係：ブライダルを専門的に学んだ者として、列席・新郎新婦の基本的な流れ・マナーの相談に乗れる人材になる
学習内容	ウェディング企業にて約7年勤務のち、ウェディング関連の専門学校にて4年登壇していた教員が実際に現場で必要と感じた業界基礎知識を【知識解説→ケーススタディ→ワーク→解説】の順で教える。 ①自分が列席する際のマナー（招待状、服装、祝儀、当日） ②新郎新婦の準備の流れ・マナー（段取り、日取り、結婚式スタイル、ペーパーアイテム、引出物、プログラム、結婚後）
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	服装:私服 持ち物:コマによって筆記用具を持参(前週に案内)

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション：業界の今	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
2	【列席者】 招待状（返信ハガキ（欠度・出度） ゲストカード）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
3	【列席者】 服装（親 兄弟姉妹 親族 友人）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
4	【列席者】 祝儀（金額 袋 ふくき）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
5	【列席者】 列席当日（受付 電報 スピーチ）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
6	【新郎新婦】 結婚段取り・費用（婚約～婚礼～新婚旅行 新生活）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
7	【新郎新婦】 式場決定前（プロポーズ 挨拶 結納 日取り（六曜））	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
8	【新郎新婦】 スタイル決め（挙式スタイル 披露宴スタイル）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
9	【新郎新婦】 会場決め（式場スタイル ウェディングフェア）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
10	【新郎新婦】 ペーパーアイテム（招待状 度次表作成マナー）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
11	【新郎新婦】 ギフト（引出物 プチギフト）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
12	【新郎新婦】 プログラム（進行 手紙 謝辞）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
13	【新郎新婦】 ゲスト演出（スピーチ 乾杯 全開 カメラ）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
14	【新郎新婦】 式後（婚姻届 ハネムーン 内祝い 結婚通知状）	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
15	総復習 振り返り テスト 60点分 定期試験	スライド	授業内容に応じて、自宅学習

対象学年	2 学年	科目名	ブライダルブーケ B	担当名	松浦 麻子
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 60 時間

到達目標	ブーケ、ヘア装飾の実技を通して得る生きた知識を自分の専門分野に活用できる。ブーケスタイルによる特徴や美しさ、構造による留意点と優れた点、効果的な取扱いとトラブル対応などを説明、実践でき、さらに各自の専門性と掛け合わせて言葉で表現できる。
学習内容	9年間ホテル婚礼装花の業務経験のある教員が、生花、ドライフラワー、アーティフィシャルフラワーを用いた多彩なブーケやヘア装飾を教える。プランナー等各専門分野に役立つ着眼点で、花材の種類、ブーケスタイル、構造の特徴や取り扱いを習得し、プランニング等の付加価値を高める。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	授業によりハサミなど持参/毎回の授業に振り返り有/生花を使う場合は水揚げ作業もしま

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	【ドライフラワーのクラッチブーケ】 取扱いと作り方説明 ブーケ・ブートニア・ヘアード作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
2	【生花のクラッチブーケ】 現場取扱いと水揚げ説明 水揚げ・ブーケ・ヘアード作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
3	【アーティフィシャルフラワーのクラッチブーケ】 注意点説明 ブーケ・花冠作成・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
4	【生花のラウンドブーケ:ブーケホルダー使用】 ブーケホルダーの説明 水揚げ・ブーケ・ブートニア作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
5	【アーティフィシャルフラワーのラウンドブーケ】 生花、造花、ドライ比較解説 ブーケ・ブートニア作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
6	【生花のティアドロップブーケ:ブーケホルダー使用】 作り方説明 水揚げ・作成・リボン取付	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
7	【アーティフィシャルフラワーのキャスケードブーケ:ブーケホルダー使用】ホルダー等のメリットデメリット解説 作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
8	【生花のキャスケードブーケ:ブーケホルダー使用】 作り方説明 作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
9	【ドライフラワーのボールブーケ】 作り方説明 ブーケデザイン・制作・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
10	【生花のボールブーケ】 水揚げ・ブーケデザイン・制作・前回との比較	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
11	【ドライフラワーのバッグ型ブーケ】 作り方、注意点説明 ブーケデザイン・制作	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
12	【アーティフィシャルフラワーのリングブーケ】 作り方説明 ブーケデザイン・制作・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
13	展示会用ドレス選択 ブーケデザイン	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
14	展示作品制作 展示 感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
15	定期試験	筆記用具	なし

対象学年	2 学年	ハウスセールスII	田中 絵巳
対象学期	後 期	講義 (演習)・実技・実習	2単位 30 時間
到達目標	「集客～新規接客～成約の流れを理解し、新規接客カウンセリング時の質問・会話をロールプレイングできること」 ①認知:集客～新規接客～成約までの流れと新規接客カウンセリングすべき質問・会話が思い浮かぶ ②感情:ハウスセールスって面白い、やってみたい ③行動:集客～新規接客～成約までの流れと新規接客カウンセリングの質問・会話を実践できる ④対人関係:アンケートを元に質問できる(ロープレにて確認)		
学習内容	ウエディング企業にて約7年勤務のち、ウエディング関連の専門学校にて4年登壇していた教員がゲストハウスでの新規接客での各項目で実施する質問・会話の意図を教える。前期(I)は意図理解、後期(II)は実践編と分けることにより、型(セールストーク)だけを教えるのではなく、プランナーとして必要な知識と姿勢を習得する。		
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験はロールプレイングとする		
履修に当たっての留意点	持ち物:筆記用具とメモ帳 服装:私服(オフィスカジュアル)スーツの日あり		

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション (カウンセリング用の自己紹介づくり)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
2	【カウンセリング入門①】 かわり行動(視線、身体言語、言語追跡、声の調子)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
3	【カウンセリング入門②】 質問技法	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
4	【カウンセリング入門③】 観察技法、語りを促す技法、感情の反映	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
5	【カウンセリング/アンケートロープレ①】 挨拶・アイスブレイク(なれそめ、プロポーズ)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
6	【カウンセリング/アンケートロープレ②】 希望(時期、曜日、日柄、時間帯)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
7	【カウンセリング/アンケートロープレ③】 希望(人数、ゲスト、予算)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
8	【カウンセリング/アンケートロープレ④】 希望(雰囲気、イメージ、興味アイテム)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
9	【カウンセリング/アンケートロープレ⑤】 競合(何軒目の見学か、エリア、見学予定)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
10	【会場見学①】 ケーススタディ(カウンセリングを元にした見学案)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
11	【会場見学②】 ケーススタディ(カウンセリングを元にした見学案)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
12	【会場見学～日程提示、見積もり①】 ケーススタディ	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
13	【会場見学～日程提示、見積もり②】 ケーススタディ	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
14	【総復習・定期試験前練習(試験点数基準説明)】 ★14回目に試験の会話のワンフレーズ考える	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
15	定期試験(ロールプレイング)60点分 (名刺・挨拶・お二人の名前・来館きっかけまで)	各授業の振り返り資料持参	定期試験の為の復習

対象学年	2 学年	科目名	アニバーサリープランニング	担当名	中村 恵理
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	日常のイベントをより効果的に演出するための手法を、実例を元に実践的に学び、ブライダルフェアやプロポーズプランなどの企画立案を準備する
学習内容	ゲストハウス・ホテル・レストランなど様々な会場を経験したのち、フリープランナーとして現在も活躍している教員が、日常のイベントシーンをはじめとし、ブライダルフェアの企画ができるように実施する
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	1つ1つの事例を自分の大切な相手に行う気持ちで取り組む事

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	日常におけるアニバーサリーシーンとは	筆記用具	
2	①誕生日についてのプランニング(準備)	筆記用具	
3	①誕生日についてのプランニング(発表)	筆記用具	
4	イベントプランニングに必要な要素 (対象者の把握、ヒアリング)	筆記用具	
5	イベントプランニングに必要な要素 (対象者の特徴、ペルソナ設定)	筆記用具	
6	イベントプランニングに必要な要素 (タイムスケジュール作成、予算設定)	筆記用具	
7	イベントプランニングに必要な要素 (当日運営、アクシデント対応)	筆記用具	
8	季節ごとに行われるイベントシーン (イベントプランニング実践)	筆記用具	
9	婚礼業界におけるアニバーサリーシーンとは 新規顧客向けのブライダルフェア	筆記用具	
10	成約顧客向けのブライダルフェア	筆記用具	
11	式済み顧客向けのイベント	筆記用具	
12	②式済み顧客に向けたイベントのプランニング (準備)	筆記用具	
13	②式済み顧客に向けたイベントの発表	筆記用具	
14	まとめ 定期試験に向けての準備	筆記用具	
15	定期試験(プロポーズプランを企画立案する)		

対象学年	2 学年	科目名	ホテルセールスⅡ	担当名	丸毛 浩一
対象学期(Q)	後 期		講義・演習・実技・実習	単位/時間数	単位 30 時間

到達目標	ホテルのセールス&マーケティングに関する基本知識を学びホテル集客の基礎を体系的に述べ考える事が出来る。																					
学習内容	ホテル業界で各部門担当支配人及び総支配人の実務経験を有しホテル学校での教育経験を持つ教員がホテルセールス&マーケティングの基礎と理論を述べ考える事の出来る授業を実施する。																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>4.0</td><td>90点~100点</td></tr><tr><td>B</td><td>3.0</td><td>80点~89点</td></tr><tr><td>C</td><td>2.0</td><td>70点~79点</td></tr><tr><td>D</td><td>1.0</td><td>60点~69点</td></tr><tr><td>E</td><td colspan="2">出席不良</td></tr><tr><td>F</td><td>0.0</td><td>59点以下(不合格)</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験+ワークセッション評価とする	評価	GPA	合計点数	A	4.0	90点~100点	B	3.0	80点~89点	C	2.0	70点~79点	D	1.0	60点~69点	E	出席不良		F	0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	4.0	90点~100点																				
B	3.0	80点~89点																				
C	2.0	70点~79点																				
D	1.0	60点~69点																				
E	出席不良																					
F	0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	毎週の授業及び事前学習課題に備え指定されたテキストを必ず持参。 メモ帳(小型)、ノック式ボールペン及びPCを忘れず持参すること。																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	エクスターナルマーケティングの理解Ⅰ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
2	エクスターナルマーケティングの理解Ⅱ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
3	ファンマーケティングの理解Ⅰ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
4	ファンマーケティングの理解Ⅱ & エクスターナルマーケティング	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
5	ホテル運営の基本ⅠⅡ(先ずお越し頂く)について学び考えて理解する	ホテル運営の基本(レジュメ) 「アイデアカード」	当該授業の反復学習
6	ホテル運営の基本ⅢⅣ(又、いつもお越し頂く)について学び考えて理解する	ホテル運営の基本(レジュメ) 「アイデアカード」	当該授業の反復学習
7	ホテル運営の基本Ⅴ(顧客満足向上CS・CX)について学び考えて理解する	ホテル運営の基本(レジュメ) 「アイデアカード」	当該授業の反復学習
8	ホテル運営の基本Ⅵ(従業員満足向上ES・EX)について学び考えて理解する	ホテル運営の基本(レジュメ) 「アイデアカード」	当該授業の反復学習
9	ホテル運営の基本Ⅶ(ブランド確立)とホテル運営の基本 まとめ ワークセッションへ向けて	ホテル運営の基本(レジュメ) 「アイデアカード」	当該授業の反復学習
10	ホテルマーケティング事例(自ら考え造りあげる)Ⅰ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト ホテル運営の基本	当該授業の反復学習
11	ホテルマーケティング事例(自ら考え造りあげる)Ⅱ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト ホテル運営の基本	当該授業の反復学習
12	ホテルマーケティング事例(自ら考え造りあげる)Ⅲ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト ホテル運営の基本	当該授業の反復学習
13	ホテルマーケティング事例(自ら考え造りあげる)Ⅳ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト ホテル運営の基本	当該授業の反復学習
14	ホテルセールス&マーケティングⅡ 学習まとめ(定期試験に向けて)	ホテルマーケティングブック PPTテキスト ホテル運営の基本	当該授業の反復学習
15	定期試験(筆記+ワークセッション)		

対象学年	2 学年	科目名	レストランサービス検定Ⅱ	担当名	唐橋 誠治		
対象学期(Q)	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位	60	時間

到達目標	『レストランサービス技能検定の筆記試験対策授業』料飲サービスのプロとして、料飲サービスに関する資格としては唯一の国家資格である「レストランサービス技能検定3級」合格を目標とする。
学習内容	一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会が認定する、西洋テーブルマナー認定講師・HRS1級技能士を有する講師が担当。3級合格に向けた筆記対策授業を行う。テキストに沿って重要項目にはアンダーラインを引きながら解説。過去問題を使用し、本番試験に模した問題を解く。何度も繰り返ししながら、問題傾向を把握して合格に繋げる。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	第2章 接客の基本 第1節 料飲サービスの役割 第2節 料飲サービスの性格と特徴	西洋料理 料飲接客サービス技法	
2	第2章 接客の基本 第3節 料飲サービスを支える条件 第4節 料飲サービススタッフに求められる資質	西洋料理 料飲接客サービス技法	
3	第3章 第1節 宴会	西洋料理 料飲接客サービス技法	
4	第3章 第2節 レストラン	西洋料理 料飲接客サービス技法	
5	第3章 第3節 客席案内	西洋料理 料飲接客サービス技法	
6	第3章 第4節 注文	西洋料理 料飲接客サービス技法	
7	第3章 第5節 テーブルサービス	西洋料理 料飲接客サービス技法	
8	第3章 第6節 調理の仕上げ	西洋料理 料飲接客サービス技法	
9	第3章 第7節 予約、解約	西洋料理 料飲接客サービス技法	
10	第3章 第8節 メニュー管理	西洋料理 料飲接客サービス技法	
11	第3章 第9節 料理、食器等の異常	西洋料理 料飲接客サービス技法	
12	第3章 第10節 一般的な救護方法	西洋料理 料飲接客サービス技法	
13	第3章 第11節 食事のサービスマナー	西洋料理 料飲接客サービス技法	
14	第3章 第12節 食事の国際習慣	西洋料理 料飲接客サービス技法	
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	レストランサービス実技Ⅱ	担当名	唐橋 誠治		
対象学期(Q)	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位	60	時間

到達目標	『レストランサービス技能検定の実技試験対策授業』料飲サービスのプロとして、料飲サービスに関する資格としては唯一の国家資格である「レストランサービス技能検定3級」合格を目標とする。
学習内容	一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会が認定する、西洋テーブルマナー認定講師・HRS1級技能士を有する講師が担当。3級合格に向けた実技対策授業を行う。過去の実技試験問題を使用し、何度も繰り返ししながら、実技試験合格に向けたポイントを確認して資格取得に繋げる。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	検定用テキスト、西洋料理料飲接客サービス技法内にあるフルーツカット等の実技技術面を取り入れる。(サービスコンクール風)

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ランチサービスについて①		
2	ランチサービスについて②		
3	ランチサービスについて③		
4	ランチサービスについて④		
5	ランチサービスについて⑤		
6	ランチサービスについて⑥		
7	ランチサービスについて⑦		
8	ランチサービスについて⑧		
9	ランチサービスについて⑨		
10	ランチサービスについて⑩		
11	ランチサービスについて⑪		
12	ランチサービスについて⑫		
13	ランチサービスについて⑬		
14	ランチサービスについて⑭		
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	ブライダルヘアメイクⅡ	担当名	木本ルミ子
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	様々なブライダル会場、シチュエーション・ドレスに合わせてヘアメイクスタイリングの提案・基本的な施術が出来るようにする。またヘアメイクとヘッドドレス、ドレス、小物のコーディネート力が身に付いたプロフェッショナルな人材を育成する。
学習内容	ヘアメイク事務所に5年広告、雑誌、ショーなど経験。その後海外でブルガリホテルやアマン系ホテル等でブライダルヘアメイク、コーディネーターとして経験を積み帰国。現在フリーランスで活動中の講師が現場での経験を活かし実例やトレンドを交え説明・実演しヘアメイク・ドレス等のトータルコーディネート力を身に付けるための講義を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	ヘアメイク道具一式持参

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダルヘアメイクの特徴①/ヘア基礎技術確認 (定番アップスタイル:一束・コテ巻き・編み込み・ピンニング)	ヘア道具一式	
2	ブライダルヘアメイクの特徴②/メイク基礎技術確認 (スタンダードメイク:ベース・眉・シャドー・リップ・チーク)	メイク道具一式 (基礎化粧品、メイク落とし持参)	
3	イメージ別メイク&ドレス【ナチュラル・ピュア】	メイク道具一式 (基礎化粧品、メイク落とし持参)	
4	イメージ別ヘア&ドレス【ナチュラル・ピュア】ハーフアップ	ヘア道具一式	前回のイメージドレス(小物・会場)を検索してくる
5	イメージ別メイク&ドレス【キュート・スウィート】	メイク道具一式 (基礎化粧品、メイク落とし持参)	
6	イメージ別ヘア&ドレス【キュート・スウィート】編み下ろし	ヘア道具一式	前回のイメージドレス(小物・会場)を検索してくる
7	イメージ別メイク&ドレス【エレガント・ノーブル】	メイク道具一式 (基礎化粧品、メイク落とし持参)	
8	イメージ別ヘア&ドレス【エレガント・ノーブル】アップヘア	ヘア道具一式	前回のイメージドレス(小物・会場)を検索してくる
9	イメージ別メイク&ドレス【クール・シャープ】	メイク道具一式 (基礎化粧品、メイク落とし持参)	
10	イメージ別ヘア&ドレス【クール・シャープ】タイトポニー	ヘア道具一式	前回のイメージドレス(小物・会場)を検索してくる
11	トレンドヘアメイク&ドレス①【カチモリヘア&韓国メイク】	ヘア・メイク道具一式	
12	トレンドヘアメイク&ドレス②【巻き下ろし&女優メイク】	ヘア・メイク道具一式	
13	会場別ヘアメイク①【エレガント系ホテルスタイル】	ヘア・メイク道具一式	
14	会場別ヘアメイク②【キュート系ゲストハウススタイル】	ヘア・メイク道具一式	
15	定期テスト	ヘア・メイク道具一式	

対象学年	2 学年	花嫁着付(紋服・白無垢)	岡野暢子
対象学期	後 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	4単位 60 時間

到達目標	和装婚礼式服の基本着付 1.婚礼衣装、小物類のあつかい方を覚える 2.花婿式服の着付を覚える 2.花嫁式服の着付を覚える
学習内容	長年和装の着付技術の指導にあたり、自らも和装ブライダル現場を経験してきた山野流着装奥伝師範講師より和装婚礼式服の基礎知識、衣装の扱い方をわかりやすく解説し、伝統を継承しながらも現代のニーズに応えられる婚礼着付の技術をお伝えします。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	キャミソール(タンクトップは不可)・レギンス(薄手のもの)を着用します。 髪は襟足にかからないよう上にまとめあげて参加してください。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	和装花婿の紋服の基礎知識と基本着付を覚える	花婿着付テキスト・着付小物一式 タオル(白)3枚・クリップ	
2	和装花嫁 使用する衣装・小物の基礎知識 綿花・タオルを用いた体型補正から長襦袢の基本着付	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル(白)3枚・クリップ	
3	和装花嫁の基本着付 展示同時実習 綿花・タオルを用いた体型補正から長襦袢の基本着付	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル(白)3枚・クリップ	
4	和装花嫁の基本着付 展示同時実習 技術者・助手の心得とヘルプの動き方の説明	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル(白)3枚・クリップ	
5	和装花嫁の基本着付 展示同時実習 体型補正から長襦袢の着付、掛下の基本着付まで実施	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル(白)3枚・クリップ	
6	和装花嫁の基本着付 実習 体型補正から長襦袢の着付、掛下の基本着付まで実施	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル(白)3枚・クリップ	
7	和装花嫁の基本着付 展示同時実習 体型補正→長襦袢→掛下→掛下文庫結びを実施する	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル(白)3枚・クリップ	
8	和装花嫁の基本着付 実習 体型補正→長襦袢→掛下→掛下文庫結びを実施する	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル(白)3枚・クリップ	
9	和装花嫁の基本着付 体型づくりから掛下文庫 →抱え帯・筥迫・懐剣→打掛→型づけまで仕上げる	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル(白)3枚・クリップ	
10	和装花嫁の基本着付 体型づくりから掛下文庫 →抱え帯・筥迫・懐剣→打掛→型づけまで仕上げる	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル(白)3枚・クリップ	
11	和装花嫁の基本着付 体型づくりから掛下文庫 →抱え帯・筥迫・懐剣→打掛→裾どりまでを覚える	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル(白)3枚・クリップ	
12	和装花嫁の基本着付 体型づくりから掛下文庫 →抱え帯・筥迫・懐剣→打掛→裾どりまでを覚える	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル(白)3枚・クリップ	
13	和装花嫁の基本着付 実習 技術者・助手・モデル 一人仕上げ	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル(白)3枚・クリップ	
14	和装花嫁の基本着付 実習 技術者・助手・モデル 一人仕上げ	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル(白)3枚・クリップ	
15	定期試験 3人一組で花嫁の体型づくりから掛下 →掛下文庫結び→打掛→型づけまでを仕上げる	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル(白)3枚・クリップ	

対象学年	2 学年	科目名	アートディレクション	担当名	松浦 麻子
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	材料への理解と婚礼装花の技術を用いて、自分のイメージ・デザイン・アウトプット・制作をする。アイデア・考えの幅を広げ、この先の自分の知恵となる美しい記録を作成、プレゼンテーションを行う。
学習内容	9年間ホテル婚礼装花の業務経験のある教員が、ウェディング・ブライダル業界フローリストとして発想の方法と多様な材料の活用を教える。伝える為の多角的なアウトプットと、具現化をする力を培う講義を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	授業によりハサミなど持参/1～14回目まで筆記用具/毎回の授業に振り返り有

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	授業オリエンテーション ロープワークで作る装飾的構造物	筆記用具・花用のハサミ	なし
2	厚紙・植物を使う吊り下げ装飾	筆記用具・花用のハサミ・あればカッター・グルーガン・持帰り袋	なし
3	物(壁または曲面)の面に添う花束	筆記用具・花用ハサミ・グルーガン・クロッキー帳・持帰り袋	なし
4	家具(もしくは道具・花器)と植物を使う装飾	筆記用具・花用ハサミ・グルーガン・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
5	発泡スチロールを加工をしてつくる作品と植物を使う装飾	筆記用具・グルーガン・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
6	モチーフを作る(スケッチ作品もしくは立体化した作品)	筆記用具・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
7	ライト(あかり)もしくは古いものと植物を使う装飾 14回目授業の作品についてオリエンテーション	筆記用具・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
8	長い素材の作品(アレンジメントもしくは花束)	筆記用具・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
9	紙を使う作品(アレンジメントもしくは花束)・プレゼンテーション準備	筆記用具・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
10	プレゼンテーション	今までのプレゼンシートファイル	なし
11	細い金属を使う作品(アレンジメントもしくは花束かリース)	筆記用具・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
12	アクリル素材を使う作品(アレンジメントもしくは花束)	筆記用具・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
13	自分のモチーフを使う作品(アレンジメントもしくは花束)	筆記用具・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
14	アレンジメントまたは花束 テーマ「鳥の巣」	筆記用具・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
15	定期試験:実技 金属	筆記用具	なし

対象学年	2 学年	科目名	ディスプレイコーディネート	担当名	天野充恵・遠藤智緒里	
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位	60 時間

到達目標	ウェディングに関わるフローリストとして必要な季節の花や資材に関する知識。装飾の仕方や空間にあったデザインを企画し施工する技術を身につける。
学習内容	花業界に入って32年。ホテル・レストラン・船上などでのウェディング装花の装飾を多数経験する講師が授業を担当する。ウェディングブーケはこれまでに2000個以上制作。ウェディングのコンセプトメイクから施工までの知識や施工に必要な技術、制作時の注意点などをしっかり学ぶ。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	会場装飾だけではなく全体のバランスをみることができるよう知識を広げる

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ウェディングにおけるフローリストの仕事について	筆記用具・テキスト	
2	コーディネートの基礎知識(アイテム・装花の種類など)	筆記用具・テキスト	
3	カラーコーディネート・テイストイメージについて	筆記用具・テキスト	
4	会場コーディネートについて	筆記用具・テキスト	
5	会場装花制作時の注意点	筆記用具・テキスト	
6	コーディネートのバリエーション	筆記用具・テキスト	
7	セレモニースペースについて	筆記用具・テキスト	
8	東京堂見学	筆記用具	
9	コンセプトメイクの方法①	筆記用具・テキスト	
10	コンセプトメイクの方法②	筆記用具・テキスト	
11	コンセプトシート作成	筆記用具・テキスト	
12	ハウスウェディングの会場装飾(企画)	筆記用具・テキスト	
13	ハウスウェディングの会場装飾(施工)	筆記用具・ハサミセット	
14	ブーケ・ブートニア制作	筆記用具・ハサミセット・ワイヤー・フローラルテープ	
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	ブライダル撮影Ⅱ	担当名	近藤仁・高杉昌孝	
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位	60 時間
到達目標	ウェディングフォトグラファーの全般の知識・技術を身に付け、撮影から編集までできるようになる					
学習内容	フォトグラファーに必要な知識・技術について講義・演習を行います。 また、ブライダルに特化し、卒業後、スムーズに仕事に就けられるレベルを目指します。 [講師紹介] 近藤:本校で講師5年目。現在もカメラマンとして年間撮影数100組以上の現役カメラマンです。 高杉:カメラマンとして20年の経験を持ち、現在はフーランスとして活動。クライアント、同業会社にてサンプル撮影、カメラマン指導・講師も行ってます。					
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする					
履修に当たっての留意点						

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダル基礎知識Ⅰ ブライダルの基本的なマナー・知識を学んでいただきます	パソコン・筆記用具	高杉
2	ブライダル基礎知識Ⅱ 結婚式の撮り方をシーンごとに解説していきます	パソコン・筆記用具	高杉
3	ブライダル基礎知識Ⅲ 挙式の撮り方をシーンごとに解説していきます	パソコン・筆記用具	高杉
4	撮影実習Ⅰ 実際に撮影していただき、基礎を身につけていただきます。(挙式編)	パソコン・筆記用具	高杉
5	ブライダル基礎知識Ⅳ 披露宴の撮り方をシーンごとに解説していきます	カメラ・ストロボ	高杉
6	撮影実習Ⅱ 実際に撮影していただき、基礎を身につけていただきます。(披露宴編)	カメラ・ストロボ	高杉
7	撮影データの編集 (実際に5・6回目データを補正していただきます)	パソコン・筆記用具	近藤
8	撮影実習Ⅲ 型ものの撮影・ライティング(スタジオ) 基本的な知識とストロボの組み方・使い方を学ぶ	カメラ・ストロボ	近藤
9	撮影実習Ⅳ 前撮り撮影とメイク撮影 ポーズ・構図・背景との組み合わせ	カメラ・ストロボ	高杉
10	撮影実習Ⅴ 模擬撮影 実践最後の撮影になります	カメラ・ストロボ	近藤・高杉
11	撮影データの編集 (前回撮影分の補正していただきます)	パソコン・筆記用具	近藤
12	アルバム制作	パソコン・筆記用具	近藤
13	アルバム制作	パソコン・筆記用具	近藤
14	おさらい(総括) 質疑応答・個別に足りないところを補う	カメラ・ストロボ・パソコン・筆記用具	近藤
15	定期試験	カメラ・ストロボ・パソコン・筆記用具	近藤

対象学年	2 学年	科目名	フォトムービー撮影Ⅱ	担当名	森岡愛		
対象学期	後 期		講義 (演習)・実技・実習	単位/時間数	4単位	60	時間

到達目標	映像の基礎知識、撮影・編集技術を学び 婚礼を中心とした現場で即戦力として活躍出来る人材の育成
学習内容	ウェディングの映像を基本とし、その他企業案件等にも対応出来る知識・技術の習得
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノート・筆記用具・スマートフォン・カメラ(バッテリー)・編集用PC・イヤホンを持参すること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダル本番を想定した撮影技術(人前式)	筆記用具、カメラ	
2	ブライダル本番を想定した撮影技術(披露宴①)	筆記用具、カメラ	
3	ブライダル本番を想定した撮影技術(披露宴②)	筆記用具、カメラ	
4	PremierProを使用しての動画編集応用	筆記用具、パソコンmac	
5	演出できる引き出しを身につける①	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
6	演出できる引き出しを身につける②	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
7	簡単なアニメーション作成	筆記用具、パソコンmac	
8	記録とダイジェストの違いを考える①	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
9	記録とダイジェストの違いを考える②	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
10	PremierProを使用しての動画編集応用	筆記用具、パソコンmac	
11	PremierProを使用しての動画編集応用	筆記用具、パソコンmac	
12	PremierProを使用しての動画編集応用	筆記用具、パソコンmac	
13	学校紹介ムービーの作成	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
14	復習(これまでの学習で理解が足りない部分を補う)		
15	定期試験		

対象学年	2 学年	ブライダル顧客心理 B	廣瀬 祐子
対象学期	後 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	2単位 30 時間

到達目標	ブライダル業界における顧客全体像の把握と結婚式検討～準備～本番までの顧客心理の理解を深め、自分の強みを活かした接客スタイルをイメージできている人材を育成する。
学習内容	ホテル、ゲストハウス、プロデュース会社にて計13年勤務。プランナーとしての接客件数は500組以上。これまで実際に接客してきた顧客の具体例と実際に自分が結婚式をするならどうしたいかなどの顧客心理を具体的に想像できるような演習を通して、結婚式準備において繊細に遷移するブライダル顧客心理の理解を得た上で、自身がどのようなウェディングのプロになりたいかを明確化する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	・ブライダルにおける顧客層&ゼクシィのクラスタについて ・昨今のブライダル顧客の心理について		
2	自分が結婚式をするなら？理想を考えてみるワーク		
3	会場探し～会場下見～会場決定時の顧客心理について		
4	初回カウンセリング/ヒアリングの重要性について		
5	ドレス検討時の顧客心理について		
6	招待ゲスト検討時の顧客心理を考える		
7	装花コーディネート小物装飾検討時の顧客心理について		
8	料理検討/演出検討/記録検討時の顧客心理について		
9	ヘアメイク検討時の顧客心理について		
10	結婚式当日と後日のゲストと新郎新婦の顧客心理について		
11	結婚式検討～準備中～結婚式後の顧客心理の遷移まとめ		
12	結婚式準備よくあるお悩み1 対応ロープレ実践(プランナー向け)		
13	結婚式準備よくあるお悩み2 対応ロープレ実践(プランナー以外向け)		
14	・ブライダル業界において自分が活かせる強みを考える ・どんなウェディングのプロになりたいか？を考える		
15	定期試験		

対象学年	2	学年	科目名	ブライダルロケーションフォト	担当名	近藤仁		
対象学期(Q)	後	期		講義・演習・実技・実習	単位/時間数	2単位	60	時間

到達目標	様々なロケーションにおける撮影の秘訣を実践的に学ぶことにより、現場対応力を身につける
学習内容	光の読み方、背景の取り入れ方、構図の使い方を体系的に学ぶ
成績評価の方法と基準	出席点40点+実技点60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※実技はロケーションフォト撮影会で撮影した写真の評価により行う
履修に当たっての留意点	・興味を持って学習し、応用のきく撮影技術を積極的に身につけましょう・ ・カメラおよびPCを常に持参すること（バッテリー、ストレージ残量に注意）

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	担当	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション／構図について（2コマ）	近藤	カメラ、PC	
2	光を読む（2コマ）	近藤	カメラ、PC	
3	第1回ロケーションフォト撮影会（4コマ）	近藤	カメラ	
4	ロケーションフォト撮影会講評 #1（2コマ）	近藤	カメラ、PC	
5	被写体を際立たせる（4コマ）	近藤	カメラ、PC	
6	第2回ロケーションフォト撮影会（4コマ）	近藤	カメラ	
7	撮影会講評 #2／背景を活かす（4コマ）	近藤	カメラ、PC	
8	環境・状況に応じた撮影手法（4コマ）	近藤	カメラ、PC	
9	第3回ロケーションフォト撮影会（4コマ）	近藤	カメラ、PC	
10		近藤		
11		近藤		
12		近藤		
13		近藤		
14		近藤		
15		近藤		

対象学年	2 学年	科目名	カリグラフィー入門 B	担当名	笠原りんこ
対象学期	後 期	講義	・演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	カリグラフィーの基礎的な知識を学び、花嫁様の希望を叶えるウェディングアイテムを作ることができるようにする。
学習内容	レストランウェディングの商品企画・海外ブランドの筆耕に20年間携わるカリグラファーによるハイクオリティのウェルカムボードを作る技術の演習。文字を書くという手仕事を通じ、個性の表現を身につける。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	カリグラフィー道具の持参/授業内容に応じて自宅学習有

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	道具の使い方と書体の特徴	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
2	小文字の書き方1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
3	小文字の書き方2	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習有
4	大文字の書き方1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習有
5	大文字の書き方2	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習有
6	数字の書き方と小文字・大文字のチェックテスト	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習有
7	カード作り(Groom・Brideカード)	テキスト(当日配付)	
8	平筆の使い方1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習有
9	平筆の使い方2	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習有
10	ミニウェルカムボード作り1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習有
11	ミニウェルカムボード作り2		
12	ウェルカムボード作り1		授業内容に応じて自宅学習有
13	ウェルカムボード作り2		授業内容に応じて自宅学習有
14	ウェルカムボード作り3		授業内容に応じて自宅学習有
15	ウェルカムボード作り4(定期試験作品提出)		

対象学年	2 学年	科目名	ブライダルSNS演習B	担当名	長谷川 円香
対象学期	後 期	講義	・演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	近年、企業が最も力を入れていきたい！と考えているSNS戦略。商品やサービスが売れる仕組みを知り、SNSを効果的に表現出来る方法を身につけることを目標とする。
学習内容	婚礼プロデュース会社15年勤務・フリープランナー経験8年・フリーMC歴15年。その他行政・企業のSNS運用・イベント集客なども手がける講師が、マーケティングの基本中の基本について具体的に演習を行う。基礎知識が何となくでも受講可能な入門中の入門編。SNSの特性や違いを知流。インスタグラム運用に特化
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノート、筆記用具を持参すること。(ハサミ・糊などを使用する場合は事前に告知)スマートフォンまたはタブレットPCを準備して、情報収集が可能な状態で参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション 講座の流れ・到達目標の共有・自己分析	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
2	魅力的な自分自身のプロフィールを作ってみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
3	各SNSの特徴・フイタル企業のSNS研究(youtube・facebook・TikTok・Instagram・Twitter等)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
4	各SNSの特徴・フイタル企業のSNS研究(youtube・facebook・TikTok・Instagram・Twitter等)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
5	共感を呼ぶコンテンツづくり ハッシュタグ研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
6	インスタグラムの入門(OKなことNGなことを知る)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
7	目的別リール作成(ステップ型・問題解決型・メリット型)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
8	目的別リール作成(ステップ型・問題解決型・メリット型)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
9	目標設定・運用プラン作成(ペルソナ設定)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
10	学校Instagramの記事作成	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
11	学校Instagramの記事作成	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
12	学校Instagramの記事作成とインサイト研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
13	学校Instagramの記事作成とインサイト研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
14	学校Instagramの記事作成とインサイト研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	アテンダー・キャプテン・司会実践B	担当名	唐橋 誠治
対象学期(Q)	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	『婚礼におけるアテンダー・キャプテンの動きと司会の役割と技術について学ぶ』 施行スタッフとして、事前準備や当日運営に必要な知識と技術を学び、結婚披露宴の1日を組み立て運営出来る力を身に付けさせる。特にHWプログラムを検討する学生は実際に使用する第二校舎3F(リュミエール)にて当日の運営に役立せる。
学習内容	ブライダルキャプテンにて400組以上の新郎新婦を担当した講師が、事前準備を含む当日運営に必要なサービス方法と各役割ごと(アテンダー・CAP・司会など)の動き方を実際にHWが施行される第二校舎3F(リュミエール)を使用して指導します。基本マニュアルと基本の披露宴進行表をベースに授業を行い、全役割を把握する内容とします。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	【座学】受付・クローグについて 【動画】過去のハウスウェディング、サービス全般1日の流れ お客様の動き・スタッフ導線を確認		
2	【座学】ホワイエでの振る舞い、食前酒やドリンクについて 迎賓・新郎新婦入場・ウェルカムSP・乾杯①(講師主導)		
3	【座学】料理アレルギーについて 迎賓・新郎新婦入場・ウェルカムSP・乾杯②(学生主導)		
4	【座学】披露宴スタートからお色直しまで 食事スタート(サービス方法の確立)・ケーキ入刀①(講師主導)		
5	【座学】お色直しからお見送りまで 食事スタート(サービス方法の確立)・ケーキ入刀②(学生主導)		
6	【座学】オリジナルウェディングを考える(模擬披露宴設定)① 中座・再入場・テーブルラウンド・手紙・謝辞① (講師主導)		
7	【座学】オリジナルウェディングを考える(模擬披露宴設定)② 中座・再入場・テーブルラウンド・手紙・謝辞② (学生主導)		
8	【座学】役割決定、アテンダー、キャプテン、司会等 リハ披露宴前半部分	アテンダー・司会の講師の先生 ご来校	
9	リハ披露宴後半部分	アテンダー・司会の講師の先生 ご来校	
10	模擬披露宴本番(1回目)		
11	【座学】1回目の反省とオリジナルウェディングを考える (設定変更・役割変更)		
12	リハ披露宴前半部分	アテンダー・司会の講師の先生 ご来校	
13	リハ披露宴後半部分	アテンダー・司会の講師の先生 ご来校	
14	模擬披露宴本番(2回目)		
15	定期試験(座学で学んだ内容)		

対象学年	2 学年	科目名	トータルビューティB	担当名	矢越了子・佐野みゆき・千葉絵以美
対象学期	後 期	講義	演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 60 時間

到達目標	ヨガ:ヨガの知識と技術を学び、自身のメンタルヘルスクアの方法を学び、自身が健康的に働き続けられる基本姿勢を養うことができる。 ピラティス:ピラティスの知識と技術を学び、自身が健康的に働き続けられる基本姿勢を養うことができる。また、得た知識で新郎新婦様に姿勢やリラククス方法などの助言ができる人材を育成する。 エステ:セルフエステの知識と技術を学び、自身の身体の特徴を知り、自身が健康的に働き続けられるケアができるようになる。
学習内容	【ヨガ】都内私立中高保健体育教諭経験後、ヨガスタジオ・ホットヨガ・大手スポーツクラブなど多数のレッスン、ヨガ養成講座担当、イベント出演など幅広く活動し自身でヨガ教室主催、スポーツ指導歴24年。トータルビューティの視点でヨガをライフスタイルにしていこうと、知識を深めながら実習しヨガを体験していく。常にお客様目線になる視点を持っていく。 【ピラティス】ピラティスがどのように生まれ、どのように普及したのか、その歴史を知り、現代におけるその目的と効果を理解し、自身の身体に効果を感じる。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	動きやすい服装で参加すること 毎授業フェイスタオルを持ってくること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	【ピラティス】「ピラティスってなんですか?」「実際のピラティスセッション」		
2	【ピラティス】「ピラティス解剖学」「キーコンセプト ピラティス用語」「ピラティスの原理原則」		
3	【ピラティス】「初級マットエクササイズ」		
4	【ピラティス】「初級マットエクササイズ」		
5	【ピラティス】筆記試験 自己採点とフィードバック		
6	【エステ】「エステティックって何?」 「手のつぼをおしてみよう」		
7	【ヨガ】「ヨガとは?運動体操の違い・ウェルネスの視点から見たヨガ・どんなポーズがある?→ヨガ実習(スタンダードヨガ)」		
8	【ヨガ】「ヨガの種類・ヨガチャート・ポーズの種類(一人一つ調べて発表)→ヨガ実習(みんなの調べたものを組み合わせてメニューにしていこう)」		
9	【エステ】「ハンドマッサージ実践①」 「手のひらで気持ち良いところを探そう」		
10	【エステ】「ハンドマッサージ実践②」 「手のひらのトリートメント実践」		
11	【ヨガ】「呼吸法について・ヨガにとって呼吸とは?美容健康の視点からみた呼吸法→実習・ヒーリングヨガ」		
12	【ヨガ】「ヨガの歴史→実習(太陽礼拝)パワーヨガ」		
13	【エステ】「フットマッサージ実践①」 「足の裏で気持ち良いところを探そう」		
14	【エステ】「フットマッサージ実践②」 「足の裏からひざ下までのトリートメント実践」		
15	定期試験	ヨガ・ピラティス・エステ20点ずつ(合計60点)の試験を実施	

対象学年	2 学年	接遇介助士ホスピタント B	山田 みどり
対象学期	後 期	講義 ・ <u>演習</u> 実技 ・ 実習	4単位 60 時間

到達目標	接遇介助(高齢者、妊婦、障害者など)を適切に行えるようになる。ウェディング・ホテル接客スキルの一環として習得する。 ※「接遇介助士ホスピタントアソシエイト3級」合格を目指す
学習内容	一流ホテルにて婚礼・宴会などホテル業務、カナダでサービス業に勤めるなど、多種多様なシチュエーション、人々の特徴、異文化を含めたコミュニケーション力を備えた講師より、相手の状況や心理状態学びながら、お客様への適切な声掛けやコミュニケーションを行えるように実践的な学習を行う。接客時や日常生活における適切なサポート方法を学ぶ。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎回テキスト「接遇介助士ホスピタントの教科書」を持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	接遇介助士ホスピタントの必要性と資質	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
2	ホスピタントマナーの理解 ヒューマンティの概念	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
3	QOLの発表 お客様心理の理解	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
4	ポジティブワードの会話とは 5つの視点	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
5	ロールプレイング(5つの視点) Global Security・個性への対応	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
6	オープンクエスチョンとクローズドクエスチョン ロールプレイング(クエスチョン)	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
7	これまでの振り返り	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
8	お客様に合わせた 接客・介助・サービス	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
9	実技①(5人1組)個性の理解 実技②(5人1組)個性への対応	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
10	プレゼンテーション 実技③(2人1組)個性に対する接客・接遇	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
11	個性に合わせた接客・接遇 実技④(5人1組)個性に対する接客・接遇	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
12	実技⑤(5人1組)デモンストレーション 多様性を理解する	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
13	お客様を守る接客	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
14	前期・後期の振り返り 模擬試験	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
15	定期試験	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	

対象学年	2 学年	科目名	カウンセリングロールプレイB	担当名	中村 恵理
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	カウンセリングの必要性を知り、潜在的な要望を聞き出すための手法を実践を踏まえながら実施する
学習内容	ゲストハウス・ホテル・レストランなど様々な会場を経験したのち、フリープランナーとして現在活躍している教員が、日常の場面でのカウンセリングシーンや婚礼で求められるカウンセリングの意味をロールプレイを通して伝える。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	人(相手)に興味を持つこと。社会に出てからすぐに実践できるように言葉づかいにも気をつけること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション カウンセリングとヒアリングの違いとは	筆記用具	違いを知り、日常のカウンセリングをしているシーンについて考える
2	日常でみかけるカウンセリングのシーンとは (グループワーク→発表)	筆記用具	
3	婚礼におけるカウンセリングの必要性	筆記用具	
4	カウンセリング手法(同調、質問の形式)	筆記用具	
5	カウンセリング実践①ドレスショップ	筆記用具	カウンセリング結果をまとめておく
6	カウンセリング結果に基づくコラージュ作成	パソコン持参	
7	カウンセリング実践②式場見学	筆記用具	カウンセリング結果をまとめておく
8	カウンセリング結果に基づくコラージュ作成	パソコン持参	
9	カウンセリング実践③打合せ開始時	筆記用具	カウンセリング結果をまとめておく
10	カウンセリング結果に基づくコラージュ作成	パソコン持参	
11	各カウンセリングシーンにおける重要な事(総括)	筆記用具	
12	どのように対応をしたら 新郎新婦は不快に思わず答えてくれるか	筆記用具	
13	新郎新婦側にたつてのカウンセリング体験	筆記用具	
14	カウンセリングを上達させるために必要な要素	筆記用具	
15	定期試験		

対象学年	2 学年	科目名	ソムリエ・バーテンダーB	担当名	唐橋 誠治
対象学期(Q)	後 期	講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	『ワイン・バーサービス・料飲の知識 カクテルを学ぶ』ワインの最低限の産地とブドウ品種を知る。バーテンダーの基本動作、シェイクとステアが出来るようになる。オーソドックスなカクテル名とレシピを知り、料飲知識(テーブルマナーや大人の教養を身に着け
学習内容	JSAソムリエ・HBAビバレッジアドバイザーの資格を有する講師が担当。座学と実技にてお酒全般の知識を身に着ける。1コマ目の座学で知識を知り、2コマ目に実際に触れる、体験する、やってみる、創作することをして学習します。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	【座学】ワインの製造方法を知る ワインの産地(旧世界)(ニューワールド) 【実技】ワイン抜栓、ソムリエナイフの使い方、デカンタージュ		
2	【座学】白ワイン、赤ワインの世界品種を知る 【実技】ミネラルウォーターの飲み比べ (ワインテイスティング方法を水で習得する)		
3	【座学】ワイン産地の名産料理を知る(ペアリング料理) 【実技】本物の赤ワイン抜栓とホットワインづくり(ヴァンショー)		
4	【座学】コーヒー、紅茶、ソフトドリンクについて 【実技】スクイザーを使用したフレッシュレモンスカッシュを作る		
5	【座学】お酒の成り立ち(歴史について) 【実技】ステアとビルドカクテルの動作を学ぶ		
6	【座学】ビールの世界(醸造酒、蒸留酒の違いとは) 【実技】ステアカクテルにチャレンジ		
7	【座学】日本酒、焼酎について 【実技】シェイカーを使用したカクテルの動作を学ぶ		
8	【座学】4大スピリッツ(ジン、ウォッカ、テキーラ、ラム) 【実技】シェイカクテルにチャレンジ		
9	【座学】ウィスキーについて 【実技】ブレンダーカクテルにチャレンジ		
10	【座学】人気リキュール(カンパリ、アマレット、コアントローなど) 【実技】有名ノンアルコールカクテルを制作		
11	【座学】世界のカクテル名 【実技】カクテルコンペティションの動作を学ぶ(リハーサル)		
12	オリジナルカクテル① コンセプト&カクテルレシピ		
13	オリジナルカクテル② コンセプト&カクテルレシピ		
14	カクテルコンペティション 味・所作・見た目の採点		
15	定期試験(座学で行った内容ベース)		

対象学年	2 学年	科目名	BR国家検定対策3級Ⅱ	担当名	山岸 智恵子
対象学期(Q)	後 期		講義	演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数
到達目標	ブライダルコーディネーターに必要な知識・技能・実践力を理解、習得し、ブライダル業界唯一の国家検定【3級ブライダルコーディネーター技能検定試験】に合格すること。				
学習内容	日本並びに海外で数々のウェディングプランニング及び「コーディネーター」の経験を持ち、学校教育経験のある教員が、ブライダル業界唯一の国家検定資格である【ブライダルコーディネーター技能検定試験】を合格に導き、一人ひとりがブライダル業界での地位向上を目指すための講義を実施いたします。				
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする				
履修に当たっての留意点	ブライダルコーディネーターとして必要な知識、実践的な能力を身につけるためのベースである「テキスト」と、知識確認のための「WORK BOOK」を持参すること				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	X-5ブライダル基本知識/料理・飲み物、トータルコーディネーターの考え方	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP300～305読む
2	X-5ブライダル基本知識/衣装(洋装・和装・格式等々)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP308～325読む
3	X-6ブライダル基本知識/ヘアメイク・フラワーアイテム、会場コーディネーターの考え方	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP326～340読む
4	X-7ブライダル基本知識/ペーパーアイテム、引出物、引菓子、音響照明、司会、写真、映像、記念アイテム	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP341～353読む
5	模擬試験① /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
6	国家検定過去問題 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
7	国家検定過去問題 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
8	国家検定過去問題 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
9	模擬試験② /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
10	実技試験対策 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
11	国家検定過去問題 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック、過去問見直し
12	模擬試験③ /解説・国家検定直前対策(実技含む)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック、過去問見直し
	国家検定試験		
13	国家検定試験振り返り	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、見直し
14	定期試験対策 /テキスト振り返り	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、過去問見直し
15	定期試験	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	

対象学年	1・2 学年	科目名	模擬挙式発表会	担当名	和田 翔太郎		
対象学期(Q)	後 期		講義 演習・実技・実習	単位/時間数	6単位	90	時間

到達目標	これまで学習してきた”結婚式”について、模擬挙式を行うことで実際にどのような流れで挙式が行われるのか実践する。 その中で、新郎新婦の視点だけではなく、親御様や列席者の視点、各スタッフとしての視点、について考えを深め、「いい結婚式」にするための要素を見出す。
学習内容	都内ゲストハウスでウェディングプランナー及びバンケットキャプテンを経験しフリープランナーに転向、約10年のブライダル業界経験を持つ講師が、模擬挙式の実践を指導する。 今回は過度にオリジナリティを追求せず、基本の動きについてより繊細に理解実践できるようにすると同時に、特に挙式に関わる”人”についてフォーカスした案内や動きを考える。
成績評価の方法と基準	出席点40点＋実技演習60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A ー 4.0 90点～100点 B ー 3.0 80点～89点 C ー 2.0 70点～79点 D ー 1.0 60点～69点 E ー 出席不良 F ー 0.0 59点以下(不合格)
履修に当たっての留意点	筆記用具

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	2/13 1～4限 オリエンテーション・模擬挙式について 挙式オペレーション確認 チーム分け・役割決め	筆記用具	
2	2/14 1～4限 ドレス選定・動き検討・チャペル実践ローテーション 振り返りと模擬挙式の目標設定	筆記用具	役割決め 動きの確認・練習 (必要に応じて)
3	2/17 1～4限 ドレス着付け・動き検討・チャペル実践ローテーション 模擬挙式リハーサル 提出レポート準備	筆記用具	動きの確認・練習 (必要に応じて)
4	2/18 1～4限 模擬挙式最終準備調整 模擬挙式実践 振り返り・レポート提出	筆記用具	動きの確認・練習 (必要に応じて)